

2023年7月19日

News Release

日本カーソリューションズ株式会社

AIを搭載した安全運転管理テレマティクスサービス『Offseg (オフセグ)※1』の提供について

日本カーソリューションズ株式会社(社長:高島 俊史、以下「NCS」)は、株式会社デンソーテン(社長:米本 宜司)が開発したAIを搭載した安全運転管理テレマティクスサービス『Offseg』をNCSのリース契約先等のお客さまにご提供いたします。

NCSでは、オートリースの枠に留まらず、車両管理効率化や事故削減、働き方改革やコンプライアンス遵守を始めとしたお客さまのニーズや課題に応えるため、高機能テレマティクスサービス『NCS ドライブドクター』をはじめとしたソリューションを提供してまいりました。

今回、更に多様化するお客さまのニーズに対応するため、従来のドライブレコーダーでは検知が難しかった一時不停止や脇見運転といった危険運転を、AIを活用することで可視化することが出来る『Offseg』の提供を開始することといたしました。

『Offseg』の高度な安全運転管理機能により、お客さまの交通事故の未然防止や効率的な安全運転管理をサポートいたします。

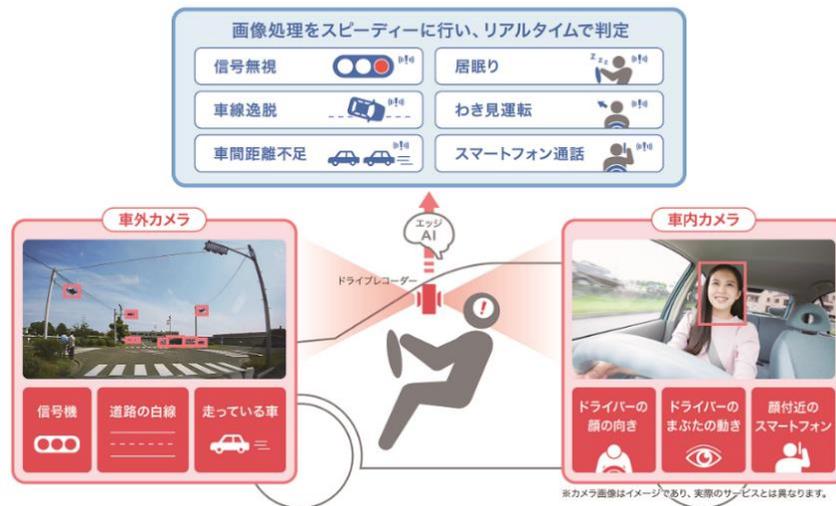
■提供開始時期

- ・NCSによる『Offseg』の提供開始は2023年度下期頃を予定しております。
- ・提供方法はNCSの自動車リースと組み合わせプラン、機器買取プランの2種類をご用意いたします。

■安全運転管理テレマティクスサービス『Offseg』 (<https://www.ncsol.co.jp/telematics/offseg/>)



【高性能・高速エッジAIがリアルタイムで危険シーンを検出するイメージ】



出所:株式会社デンソーテン 2023年2月9日発表 プレスリリース ※2

1.AI が事故リスクのある 12 シーンを検出

AIを活用し、一時不停止や速度超過、逆走、車間距離不足など人的事故要因の約7割にあたる12の危険シーンを自動で検出します。今回新たに、クラウド上のAIに加えて、車載器にエッジAIを搭載することで、信号無視や脇見運転など6つのシーンについては、運転中にリアルタイムで検出・警告が可能になりました。

2.安全運転管理のDX化

システムによる自動化で、なるべく人の手を介さない安全運転管理が可能です。検出された危険シーンからAIがドライバーの運転傾向を分析し、eラーニング用教育資料を自動で作成・配信します。ドライバーは、WEBアプリを通して、自身の運転診断結果や運転傾向を反映した安全運転指導を確認し、振り返りを行います。

3.ドライバーを見守る新たな通信型ドライブレコーダーユニットデザイン

ドライバーの視界を妨げにくい2カメラ一体型の小型ユニットにより、フルHD200万画素で約360度の広範囲を撮影します。また、オプション設定のリアカメラを追加で取り付けることで、車両後方からの追突や、後退時の衝突など後方で起きたトラブルもしっかり記録できます。

NCSは、「Your Mobility Partner」をパーパスとして、お客さまの車両に関するニーズに応えるとともに、クルマを通じて人と社会を豊かにしサステナブルな社会に貢献することを目指しています。今後も、様々なパートナーと連携しながら、お客さま(企業・自治体)のカーボンニュートラルに向けた支援等、具体的な取り組みを進めてまいります。

※1 Offsegは、株式会社デンソーテンの登録商標または商標です。

※2 URL: <https://www.denso-ten.com/jp/release/2023/02/20230209.html>

以上

<本件問い合わせ先>

日本カーソリユーズ株式会社
経営企画部

TEL: 03-5207-2100